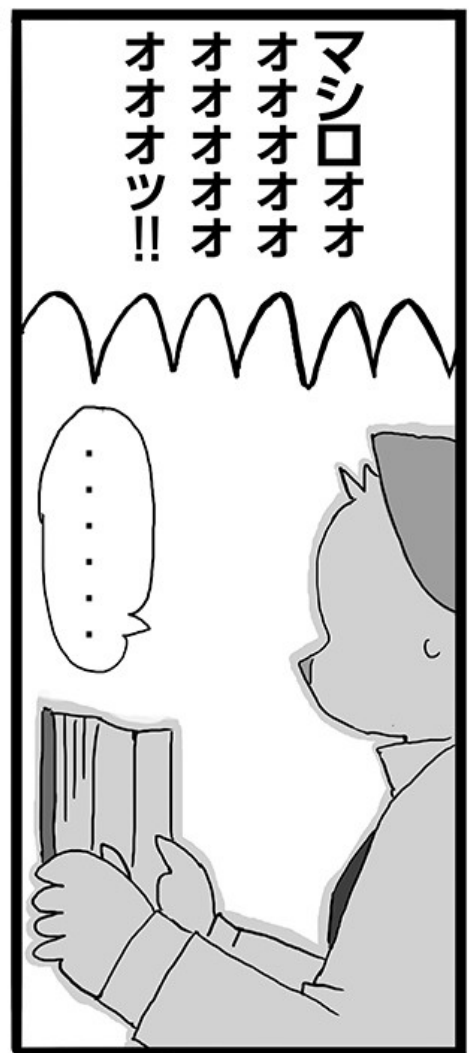
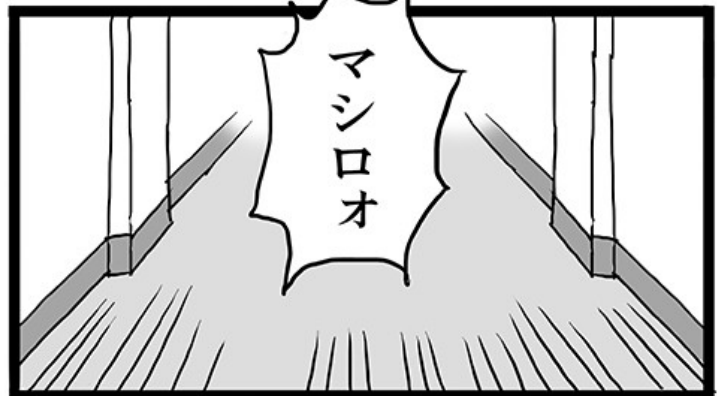
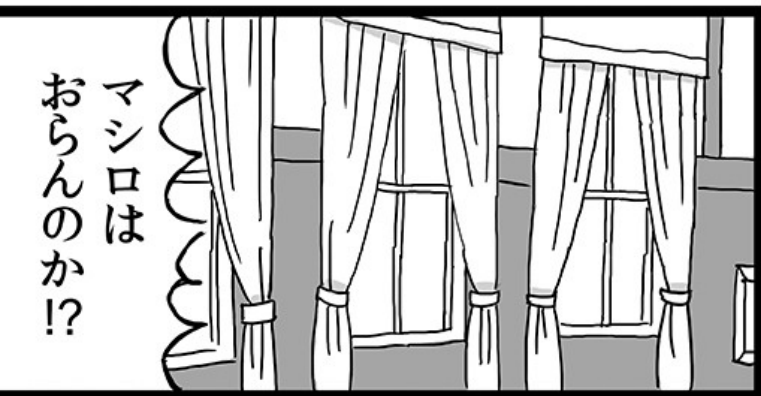


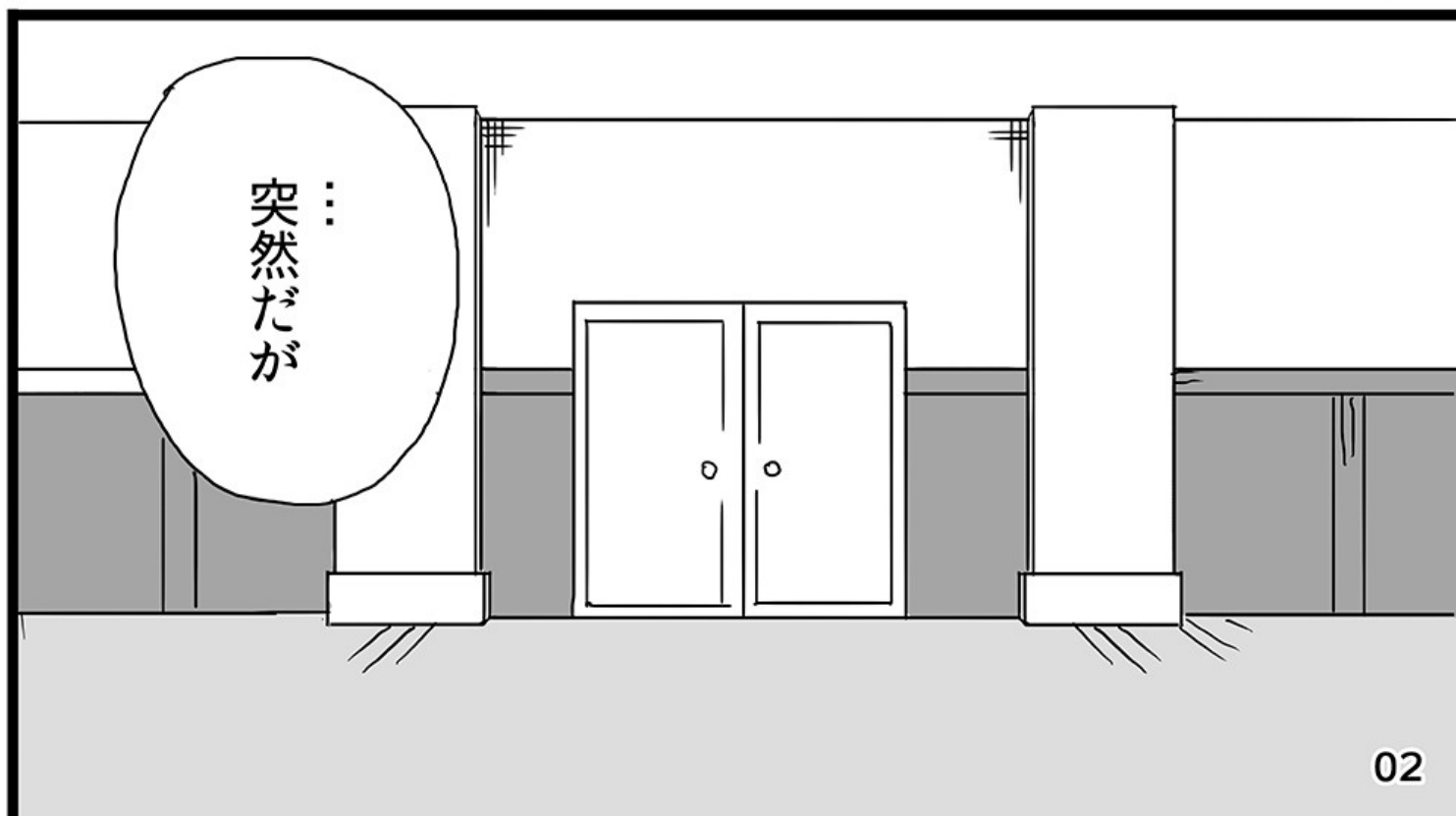
# バライロ フューリープライム

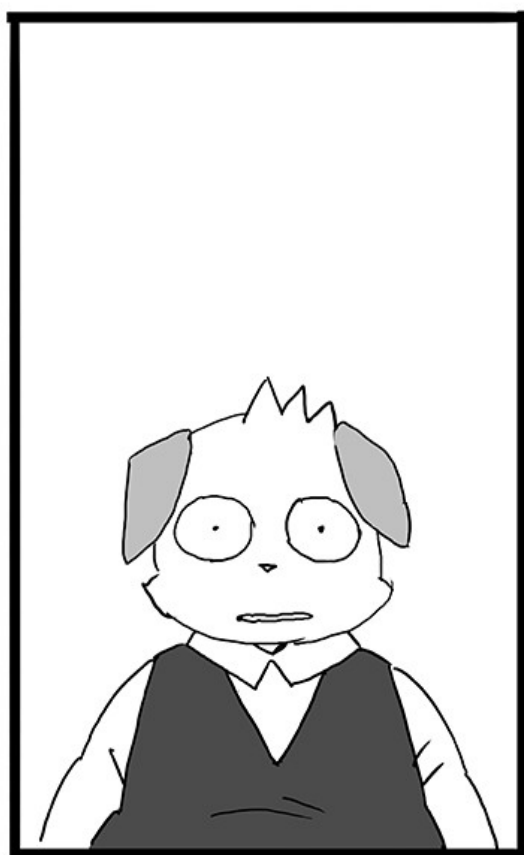


**DOJIN**  
**R18**  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止







そうかそうか  
レン君！  
今日からここを  
我が家と思って  
暮らしてくれよ

わははははは  
はははははは

は…はい…

うふふ  
あなたったら

いやいや  
いやいや

展開が急すぎるでしょ  
どっから拾ってきたの  
その子！

旅先でちよつとな…  
まあ男が細かいことを  
気にするな

細かく  
ない！

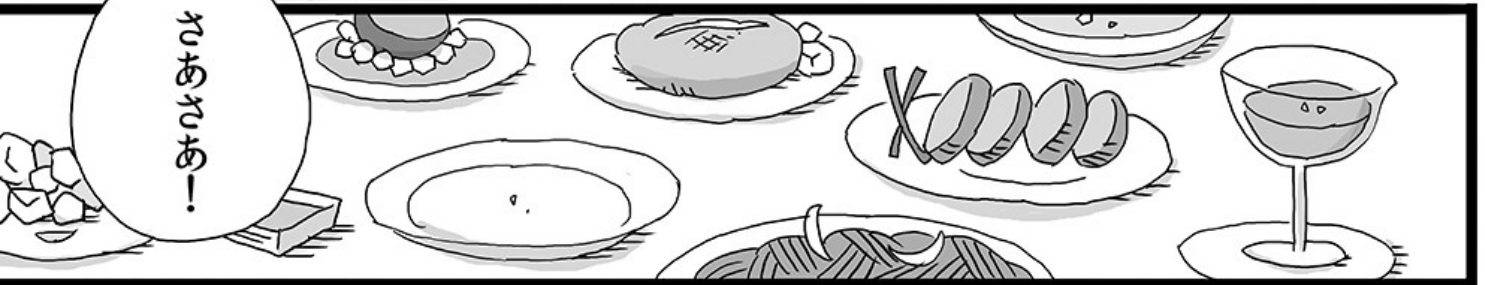
さっ！

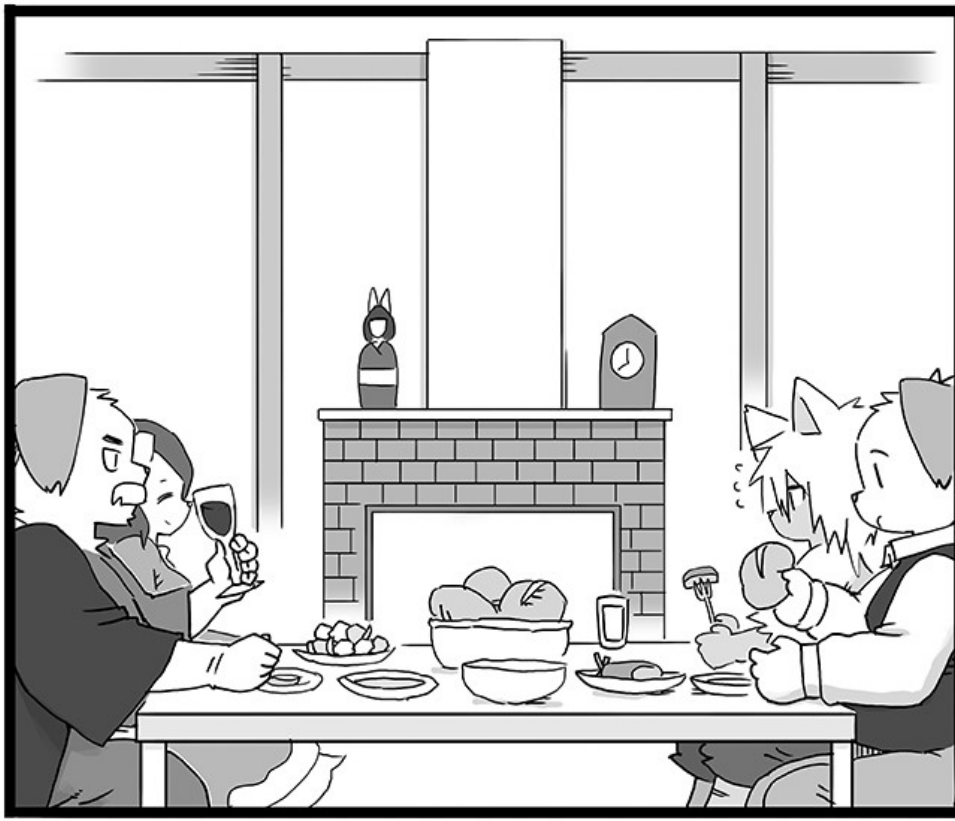
自己紹介も済んだし  
家族全員で  
夕飯にしようじゃないか  
旅先の料理も悪くは  
なかったが  
やはりうちのシエフが  
作る料理が一番だな！

うふふ  
あなたったら

ええ…

………











体…動かしてたほうが  
落ち着くので…

律儀だなあ…  
うちの家族は  
そういうの  
気にしないって  
僕にできるのは  
これくらいですし…



洗い物なんて  
お手伝いさんが  
やってくれるから  
いいのに…

い、いえ…  
こんな立派な  
お屋敷に  
住まわせて  
いただくんですから  
少しくらい  
役に立たないと…



そっか

なんだ…  
普通に  
笑ったり  
するんだな

さつきは  
大人に囲まれて  
緊張してたのかな



レン君は  
ここにくる前は  
何をしてたの？



そういえば…





!!!!!!!!!!!!  
!!!!!!!!!!!!

やめて  
叩かないで!  
もうしませんから

いまだ

許して  
ください!

!!?

ばた

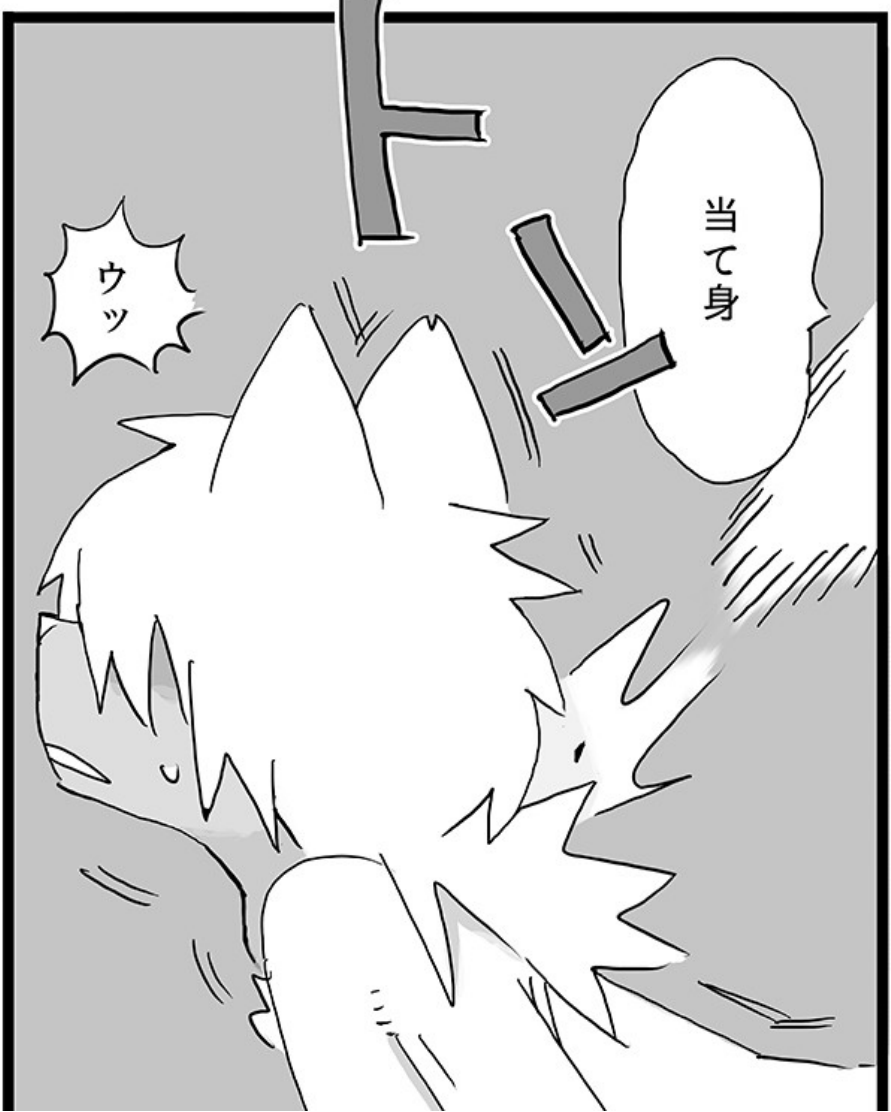
ゆ、許すも何も  
わざとじゃ  
ないんだから  
お皿一枚ぐらいで  
誰も怒らないよ!



いやだああああ  
もう熱いのは  
いやだあああ!  
許してください!  
熱いのって何!?  
何もしないから  
落ち着いてっば!  
血が出るから…!

当て身

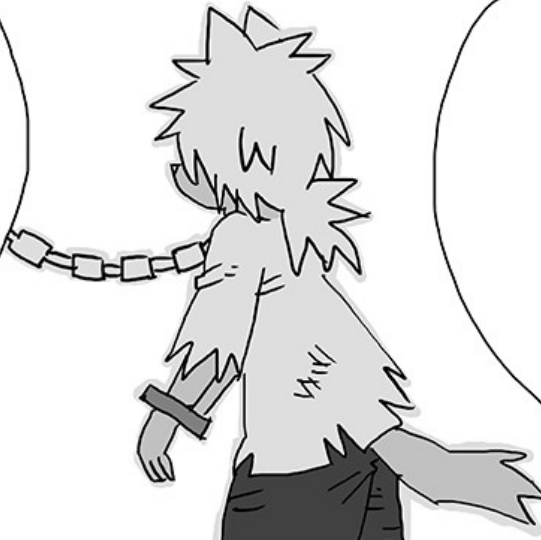
ウツ












貧民街に生まれて、  
流行病で両親を  
亡くした僕は、  
奴隷として生きていく  
他にありませんでした


日が昇る前から  
街頭の灯が  
消えるまで働いて

夜は冷たい納屋に  
繋がれて  
眠りました




食事は  
3日に一回

不手際を  
働いたときには  
全身殴られ、  
爪を剥がされ  
：



あるときには  
熱した鉄の棒を  
体に押し付けられ  
ました

うっ  
非道い…



これも生きていくため  
って思ってた  
必死に耐えてきたけど、  
仲間も次々に  
死んでって、  
怖くなって…

ある日、夜中に  
首に繋がれた鎖を  
引きちぎって、  
逃げ出してきたんです



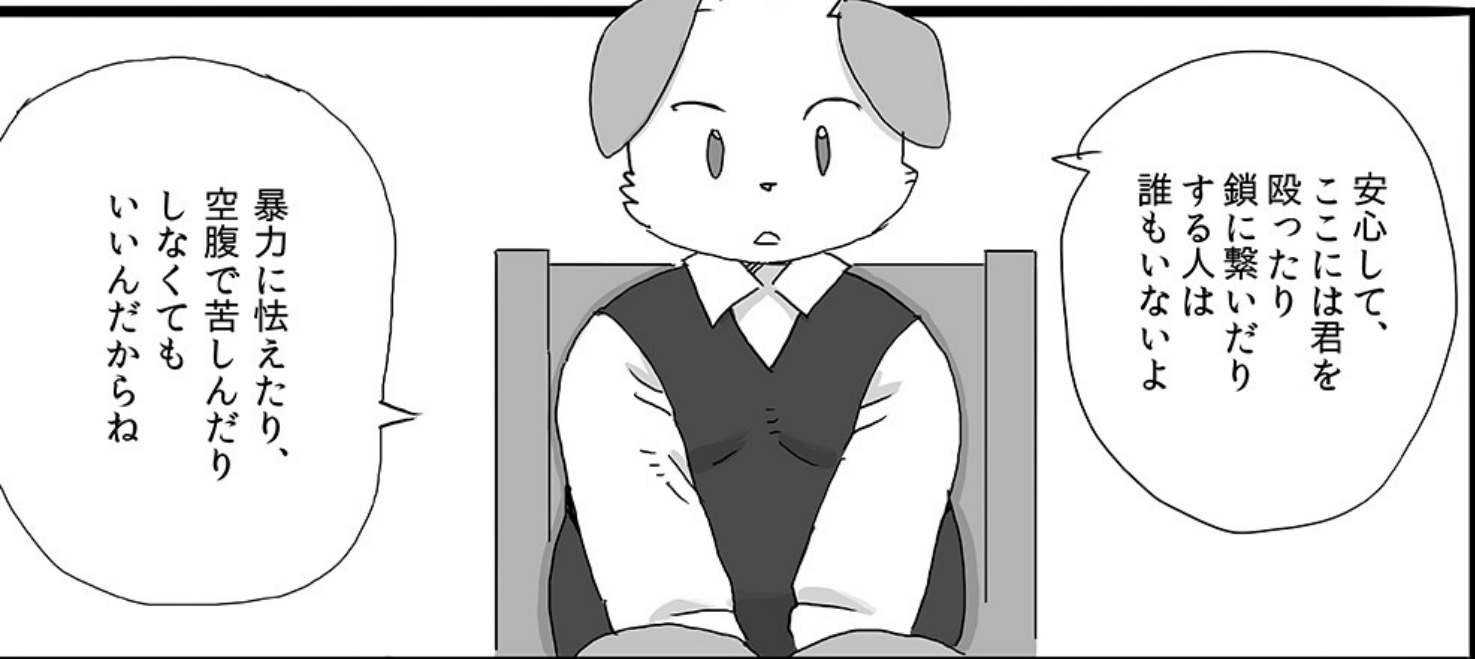
レン君!



でも、そこを出たからといって他に行き場もなく、街で行き倒れていたところを旦那様に拾って頂いたんです…

そうだったんだね…

父さん、そういうの放っておかない人だもんな



安心して、ここには君を殴ったり鎖に繋いだりする人は誰もいないよ

暴力に怯えたり、空腹で苦しんだりしなくてもいいんだからね



一緒に頑張っていきましょう…

んん、



すぐには無理かもしれないけど、ちよつとずつこの生活に慣れていこうよ

えへへ…照れくさいけど僕もできる限り協力するからさ

んん…



急に動かれたり  
触れられそうに  
なると…

自分の意思に  
関係無く  
体が反応しちゃって  
…



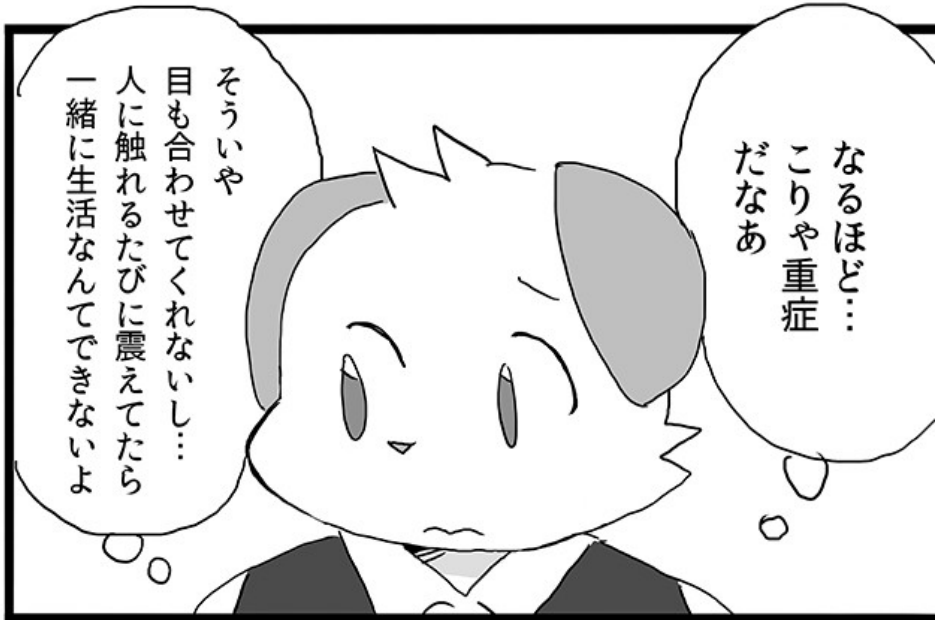
あ…  
握手  
拒否られた…

ち…  
違うんですっ  
お気持ちはい  
すごく嬉しい  
んですけど…



じゃあ…  
はいっ

スッ



なるほど…  
こりや重症  
だなあ

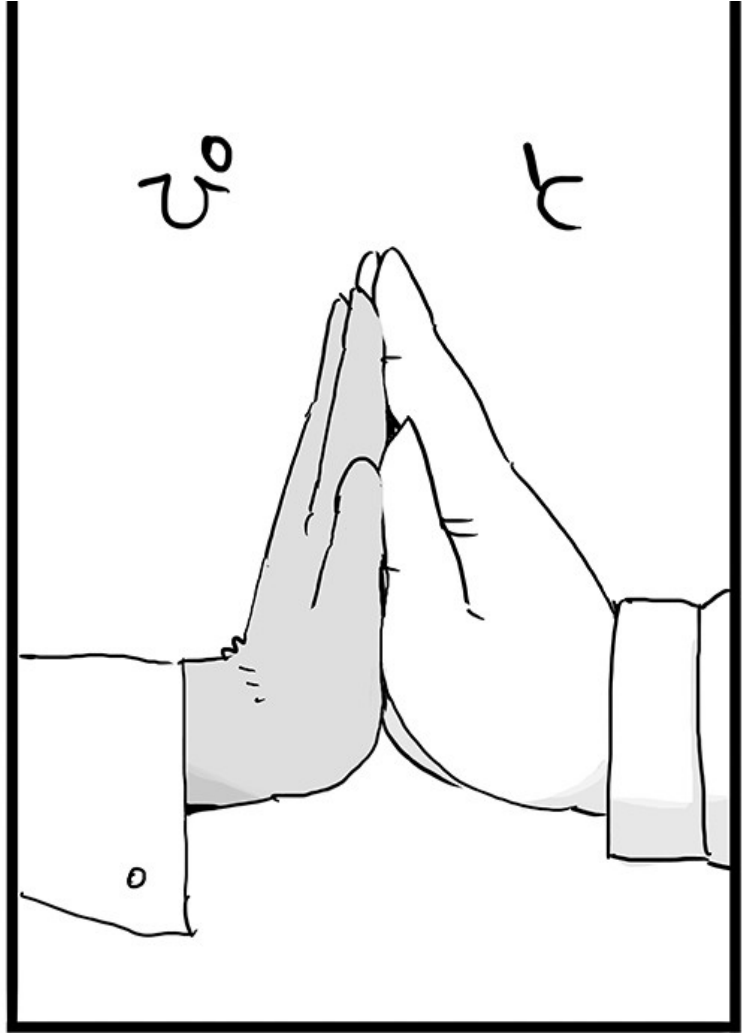
そーいや  
目も合わせてくれないし…  
人に触れるたびに震えてたら  
一緒に生活なんてできないよ

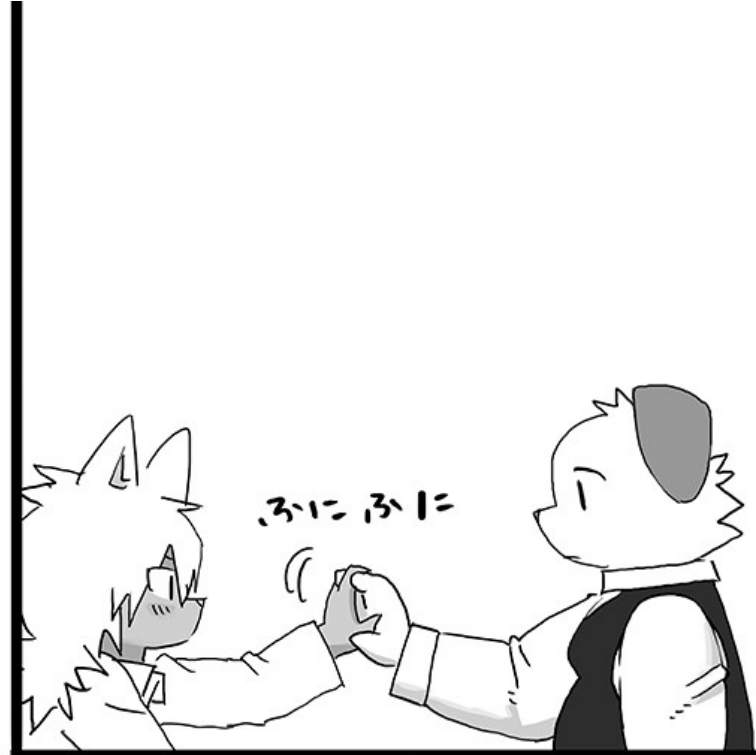


わわ、  
わかりました



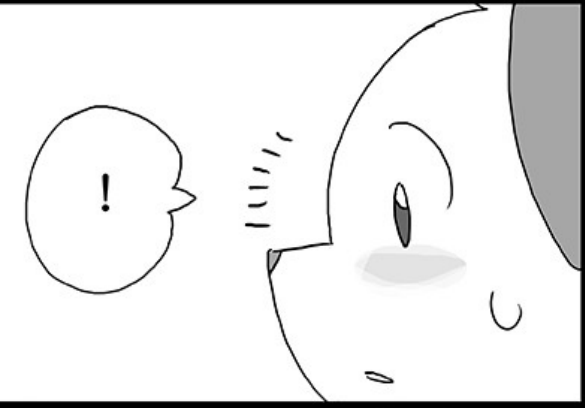
まずは  
人に慣れる練習  
してみようよ  
僕の手に  
触ってみて？







び、びっくりした...  
いきなりゼロ距離まで  
詰めてくるとは  
予想外だよ...  
意外と大胆だなこの子



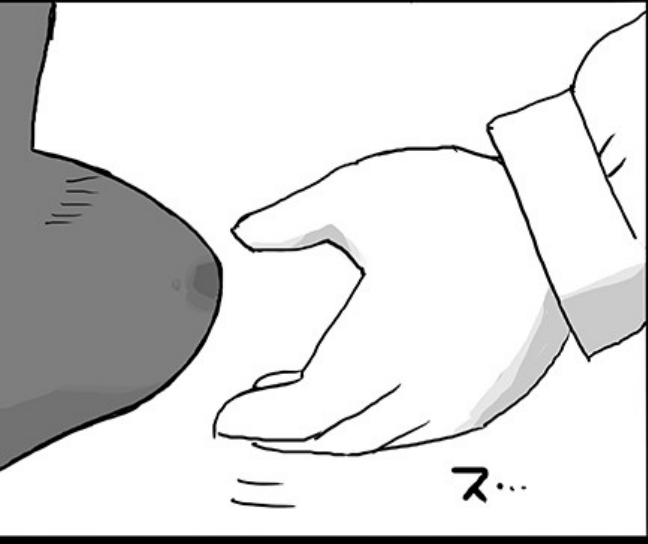
震えてる...  
本当は  
触れるのが  
怖いのに  
我慢してるんだ

だ、大丈夫？  
無理しなくても  
徐々に慣れて  
いけばいいから...



ガタガタガタ...





あつあの  
マシロさん…  
そこ、あんまり  
触られると…

あ、ごめん…  
思った以上に  
立派だったから  
つい…

さつきから痛いぐらい  
突っ張っちゃって  
先っぽがぬるぬるするんです

僕、なにか  
おかしいんでしょうか…



おかしく  
ないよ  
むしろ健康な  
男子たる証って  
いうか…

そっか、  
初めてなんだな  
こういうの

は…

恥ずかしいから…  
マシロさんも  
一緒に  
脱いでくださいね？

ね、ねえ  
ちよつと下着  
脱いでみてくれない？  
生で見たいいなー  
…なんて

えっ  
別にいい  
ですけど  
…





ぜ、全然そんなことないよ  
レン君スタイルいいし  
かわいいよ

やっぱデカイ…  
負けた

キョッ オン...



僕の体、キズだらけで  
きたないから、  
あんまり見ないでくださいね

クィクィ エン

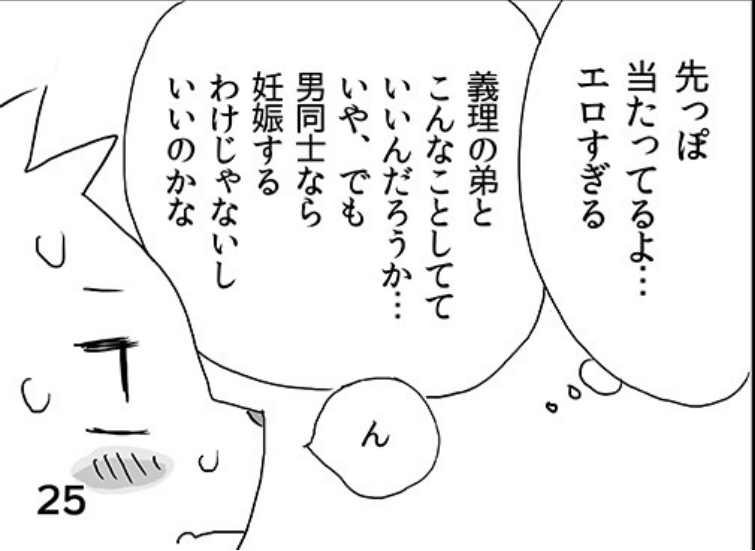


にゆるん...



う、うん

マシロ  
さん…



先っぽ  
当たってるよ…  
エロすぎる

義理の弟と  
こんなことしてて  
いいんだろうか…  
いや、でも  
男同士なら  
妊娠する  
わけじゃないし  
いいのかな

ん



僕のおしりに  
入れてみて  
もらえない  
かな？



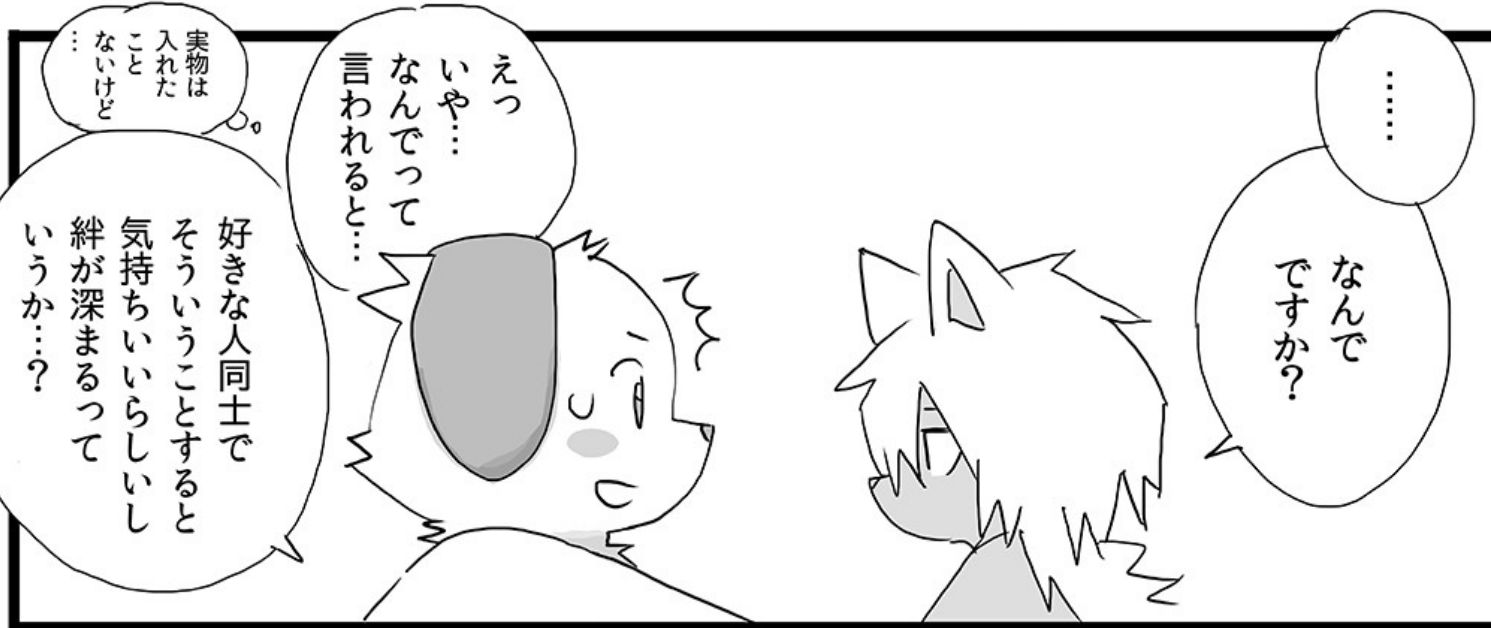
レン君の  
その立派な  
ムスコさんを



ねえレン君

ちよつと相談が  
あるんだけど

はい？



えっ  
いや…  
なんでって  
言われると…

…  
なんで  
ですか？

好きな人同士で  
そういうことすると  
気持ちいいらしいし  
絆が深まるって  
いうか…？

実物は  
入れた  
こと  
ないけど



えっ？

んー

まあ

そんな  
感じ

まあ兄弟で  
することでは  
ないが



はっ

それはもしかして…  
本当の家族になるための  
儀式的なものでしょうか？



じゃあ、  
ゆつくりでいいから  
やってみて

はい



う、うん  
ありがとう

!

わかりました!  
やらせて  
ください!

僕:  
マシロさんと  
本当の家族に  
なりたいです

# がばっ



# ズググググ

う

ああ

ふ、  
太いっ…



…  
いきま  
す

おしり  
でかい

どうぞ





ごっつ、  
ごめんなさい  
大丈夫ですか？  
すごい声  
出ましたけど…

う、うん…  
いきなりやると  
思わなかった  
から…

続けて  
いいよ…



どう  
ですか

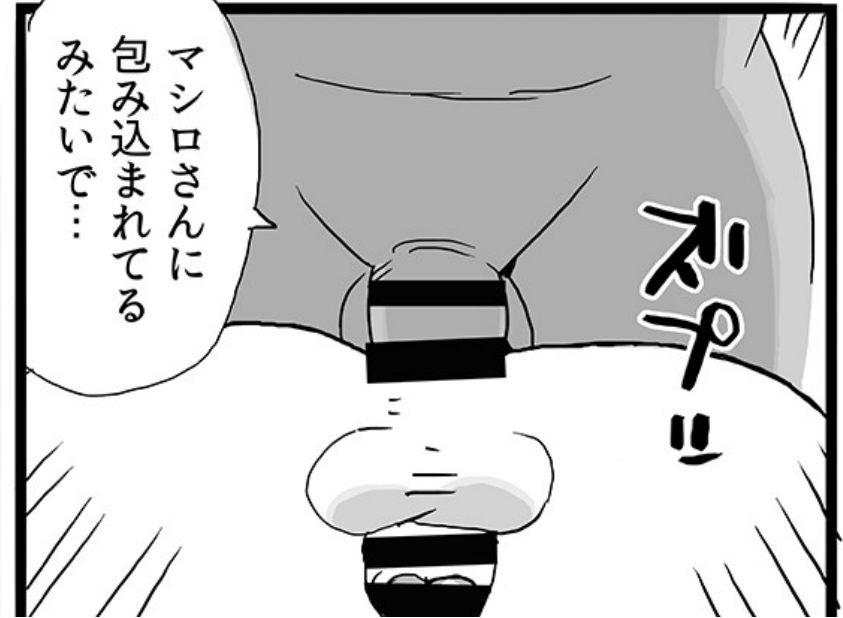
マシロ  
さんっ

すごく  
良いよ  
お腹にがんがん  
響いてくるっ  
レン君は？

はい  
僕も…

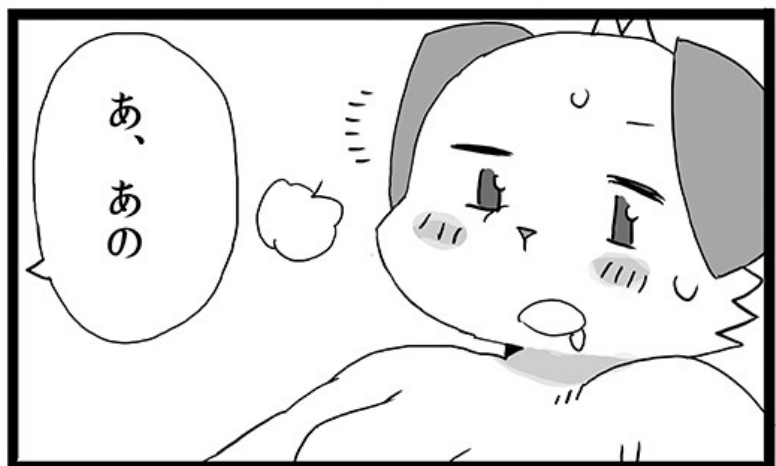


僕っ、  
ずっとこのまま  
繋がってたい…



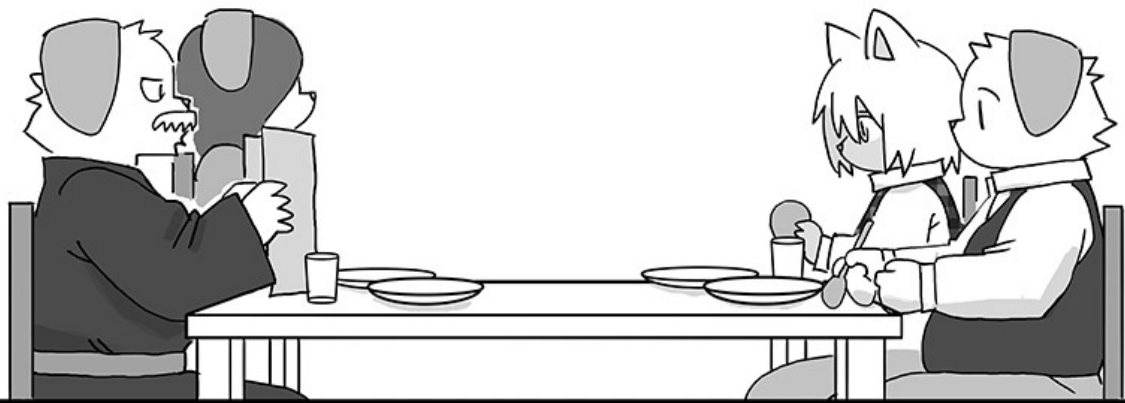
マシロさんに  
包み込まれてる  
みたいで…





いただきます～す!

数カ月後



そうですね  
あなた

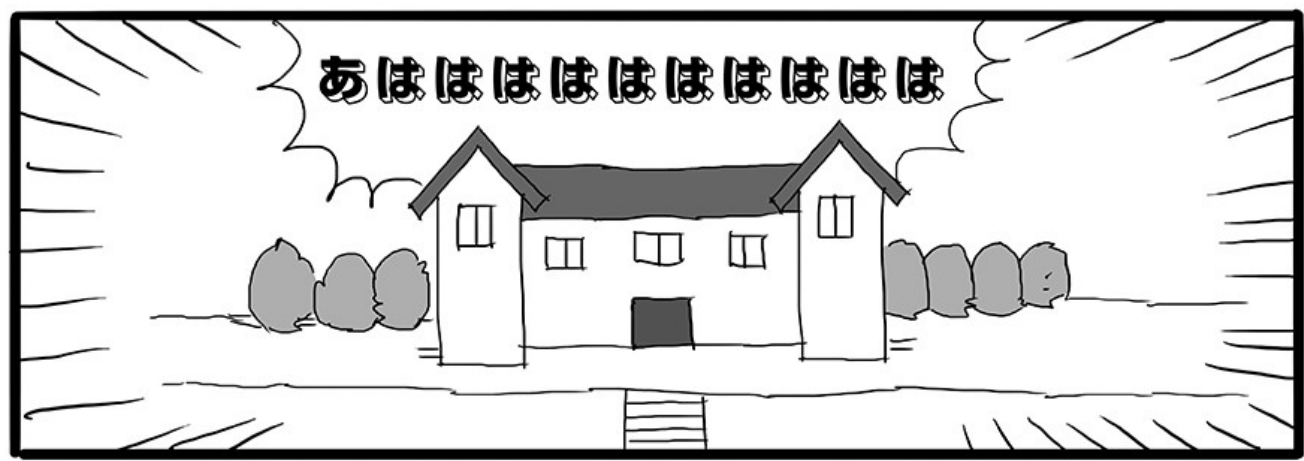
肉付きも  
良くなって  
まるで本当の  
兄弟みたいじゃ  
ないか

レン君、  
すっかり我が家に  
馴染んでくれて  
なによりだな

ん?  
あ、ごめん

兄さん、  
食べかす  
付いてるよ





-FIN-



今回のテーマは「格差」でした。  
お楽しみ頂けましたら幸いです。

# 奥付け

---

**発行日:**

2014年 12月 30日 初版

**発行:**

ラビット空間

**発行者:**

しらたま

**メールアドレス:**

rabbit\_zone@live.jp

**ウェブサイト:**

<http://www.pixiv.net/member.php?id=86368>

**印刷所:**

しまや出版さま

18歳未満の閲覧は禁止です。無断転載・二次販売は許可しません。

